4-4 伊豆半島の地殻変動

Crustal Movement in the Izu Peninsula

国土地理院

Geographical Survey Institute

伊豆半島における水準測量結果を第1図~第8図に示す。第1図の熱海~河津間の結果で は B.M.9338 付近に隆起がみられるが、この隆起は第8図にみられるように最近も続いてい る。第4図の内浦~伊東験潮場間では中伊豆町から伊東市にかけて4cmに達する隆起があり, B.M.10005 を境にして地殻変動の不連続がみられる。しかし,この不連続は最新の測量結果(第 7図)では消えている。第5図に環閉合差を示してあるが、48 - 003 - 000 ~ 9341 ~ 48 -003 - 012 ~ 48 - 003 - 000の環で制限値を超えている。測量時期の調査から、48 - 003 -012 ~ 9341 の間で短期間のうちに大きな隆起があったことが示唆された。

第9図は1985年~1984年の1年間の伊豆半島の上下変動である。伊東験潮場付近に3cm の隆起があるが、この期間の後半に起きたものである。第10、11図は伊東・内浦・油壷験潮 場の月平均潮位と潮位差である。

第12,13 図は網代及び川奈における精密変歪測量結果である。両地区とも東北東~西南西 方向の伸長歪が卓越している。

参考文献

1)	国土地理院;伊豆半島の地	殻変動,	連絡会報,	31	(1984),	229 -	245.
2)	国土地理院:伊豆半島の地	殻変動,	連絡会報,	32	(1984),	184 -	193.
3)	国土地理院:伊豆半島の地	殻変動,	連絡会報,	33	(1985),	236 -	257.
4)	国土地理院:伊豆半島の地	殻変動,	連絡会報,	34	(1985),	247 -	257.



Fig. 1 Level changes along the route from Atami to Kawazu.



第2図 沼津~熱海間の上下変動











-239-









Fig. 6 Level changes along the route from Shuzenji to Kawazu.







Fig. 8 Level changes along the route from Naka-Izu to Ito.



第9図 伊豆地方の上下変動





Fig. 10 Monthly mean sea level at the Ito and the Aburatsubo tidal stations, and difference in monthly mean sea level between them.



Fig. 11 Monthly mean sea level at the Ito and the Uchiura tidal stations, and difference in monthly mean sea level between them.



Fig. 12 Results of precise distance measurements in the Ajiro district.



-248-